

令和7年度

商工観光部 商工労働課の方針書

組織名	商工観光部 商工労働課
所属長名	赤川 博幸

1. 組織の使命(ありたい姿)

市内商工業者への成長支援や起業・創業支援等により、地域経済の活性化が図られ、まちが賑わっている。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・物価高騰等の影響による地域経済停滞の克服
- ・人口減少と地域経済縮小への対応
- ・労働生産性向上と付加価値増大の支援
- ・人材獲得競争が激化している地元企業への採用活動支援
- ・市有温泉施設の運営

3. 今年度の『スローガン』

商工業の活性化がまちに“にぎわい”を広げ次世代へ

4. 今年度の方針

- ・横手市商工業振興計画の次期計画策定
- ・市内商工業者への成長支援等
- ・労働力維持確保のための取組み推進
- ・雇用を生み出す起業・創業への支援
- ・若年者の就労、地元定着への支援
- ・市有温泉施設運営方針に基づく取組み

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市内商工業者への支援により地域経済が活性化されている
	取組内容	・横手市商工業振興計画の確実な取組み実施と次期計画策定に向けた準備を進めます。 ・企業の事業継続・拡大のための“生産性向上”につながる成長支援について推進します。 ・国、県等を含む各種支援制度活用による投資意欲の醸成を図ります。
(2)	実現したい成果	起業・創業への支援により起業家数が増加しているとともに若年者の地元定着が進んでいる
	取組内容	・Bizサポートよこてを核とした起業家育成に注力するとともに、起業後のフォローアップを強化します。 ・商店街等における空き店舗活用と賑わいの創出への支援を図ります。 ・起業予定者に対する資金調達の支援を行います。 ・新しい業態の一つである「キッチンカー」による起業を支援します。 ・関係機関等と連携し、若年者地元定着のための事業所魅力発信支援や企業の人材採用力強化を図ります。
(3)	実現したい成果	市有温泉施設の方向性に基づき、具体的取組みを進めている
	取組内容	・市が関与を継続する市営温泉施設(ゆっふる・さくら荘)の具体手続きに取り組みます。 ・鶴ヶ池荘解体に向けた実施設計を行うとともに、新たな施設建設に向けた検討委員会を開催します。 ・市営温泉施設がなくなる地域(増田・大雄)においては、地域活性化策を検討します。 ※3取組みともに地域課主導であるが連携を図る。

令和7年度

商工観光部 企業誘致課の方針書

組織名	商工観光部 企業誘致課
所属長名	平塚 和仁

1. 組織の使命(ありたい姿)

企業誘致により多様な雇用の場が創出され、若者の地元定着が進み、多くの人が地元で活躍している。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・多様な働く場の創出と人材確保への支援
- ・工業用地不足への対応

3. 今年度の『スローガン』

次世代につながる魅力ある産業拠点の形成へ

4. 今年度の方針

- ・新規企業誘致及び進出企業留置に向けた取り組みの継続
- ・工業用地の造成及び新たな候補地の選定
- ・誘致企業への採用支援

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	新規企業誘致と進出企業への支援
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・秋田県と連携した東海関西圏企業への誘致活動を継続する。・進出企業の円滑な操業に向け、きめ細かなサポートを行う。・互いの強みを生かせるよう進出企業と市内企業を繋ぐ活動を継続する。・若年者が働きやすいと望む産業・業種を誘致できるよう活動を行う。・ものづくりネットワークやフォローアップ訪問により、企業とのコンタクトを切らさない取り組みを継続する。
(2)	実現したい成果	工業用地の確保
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・柳田工業団地拡張造成工事については令和8年12月の完成を目指し、関係機関と連携を図り適正な進捗管理を行う。・また、拡張造成工事に伴う上下水道工事の早期着手を目指し、発注までの業務を適正かつ円滑に行う。・新たな用地確保に向けた候補地選定調査および事業手法を検討し、事業化に向けた取り組みを行う。
(3)	実現したい成果	誘致企業への人材採用支援
	取組内容	<ul style="list-style-type: none">・学校への訪問により、誘致企業の魅力を紹介し、地元定着と進学者の地元回帰に向け高校生の動機付けを高める。・企業訪問時における採用状況の把握とあわせ、企業と各種学校への合同訪問により必要としている人材の採用活動に向けた支援を継続する。

令和7年度

商工観光部 観光おもてなし課の方針書

組織名	商工観光部 観光おもてなし課
所属長名	山本 剛

1. 組織の使命(ありたい姿)

観光地域づくりにより「世界から選ばれる横手」が実現され、交流人口増加による地域・経済の活性化に結びついている

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・将来につながる観光施策の推進(大阪・関西万博出展・よこてWARP・20周年記念イベント)
- ・社会情勢を読み取り、各種事業のアップデートを加速する
- ・市の特性を踏まえた成長モデルの構築
- ・横手市観光推進機構及び民間事業者との連携による「稼げる観光地域づくり」の推進

3. 今年度の『スローガン』

毎日満室、毎日満席、毎日満足

4. 今年度の方針

- ・未来につながる3事業(万博・20周年記念イベント・WARP)の後世に語り継がれる成功
- ・使命・目的を全ての事業に落とし込み、業務を連動させ成果につなげる
- ・将来を見据え、地域の特性を活かした成長モデルを構築する

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	未来につながる3事業の成功
	取組内容	・大阪・関西万博への出展により外貨獲得・地域活性化・まちの顔作りの3点においてレガシーを創出する。 ・20周年記念イベントの開催により、次世代イベントフレームを構築する。 ・よこてWARPの実証実験結果をもとに、市としてあるべき姿を導き出し次年度につなげる。
(2)	実現したい成果	経済効果を意識した業務のアップデート
	取組内容	・約70年変わらぬ雪まつりの日程について、関係者と協議の上、変更の方向性を導き出す。 ・関西圏・外国人観光客誘致に向けた取り組み強化。 ・既存の観光施設・資源のあり方、地域の伝統行事やイベントについて、社会情勢を踏まえ、考え方を含めたアップデートを行う。
(3)	実現したい成果	地域特性を活かした成長モデルの構築
	取組内容	・第3次計画の検証を行い、第4次観光振興計画を策定する。 ・全ての事業について使命・目的に立ち返り、成長モデルの構築に向けた展開を図る。

令和7年度

商工観光部 横手の魅力営業課の方針書

組織名	商工観光部 横手の魅力営業課
所属長名	西川 可奈子

1. 組織の使命(ありたい姿)

相手の心に響く営業活動を推進することで、横手ファン(顧客)が増え、応援される横手市になっている。それにより、市内事業者の所得向上と地域経済の活性化につながっている。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ◇市場・消費者への横手製品の効果的なPR
- ◇市内事業者・横手製品に適した販路拡大支援
- ◇求め続けられる製品の創出・育成支援
- ◇横手ファンづくりと関係性の強化

3. 今年度の『スローガン』

常に考えよう！「目的」「手段」「成果」+ α

4. 今年度の方針

横断的な考えで事業を実施。事業フル活用で、横手製品のPR、販路拡大支援、横手ファンづくりに努めます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	国内外での横手製品の販路拡大
	取組内容	・首都圏外食市場をターゲットとした販路開拓を推進します。 ・首都圏・仙台圏の小売店舗において販売促進活動を実施します。 ・商談会への出展を支援するとともに、バイヤー招聘等により商談の機会を創出します。 ・国内外で既存販路の定着と拡大を図りつつ、新たな販路開拓(関西圏)に向けた取組みを実施します。 特に、海外販路においてはマレーシアでの横手製品の定着に向けたプロモーション活動を強化します。
(2)	実現したい成果	横手製品の認知度アップと販売促進
	取組内容	・県内外での物産展の開催、イベントへのブース出展等により、横手製品と多彩な地域資源をPRします。 ・よこてfun通信やSNSなどの広報ツールを活用し、積極的に物産情報を発信します。 ・物産関連団体と連携し、市内事業者の物産販売を後押しする取組みを実施します。 ・ふるさと納税制度を活用し、横手製品をPRするとともに、既存商品のブラッシュアップを図り、販売促進につなげます。
(3)	実現したい成果	横手ファンの獲得・拡大と関係性の強化
	取組内容	・よこてfun通信の発行(年4回)を通じて、ファンとのつながりを維持するとともに、更なるファンを獲得します。 ・物産事業を通じて、横手ファンとの交流を深める機会を創出します。 ・横手応援拠店と連携した魅力発信を推進します。 ・横手市市制施行20周年記念イベントを通じて横手の魅力を市内外に発信し、市民、応援人口が横手愛を深める機会とするとともに、更なるファンを獲得します。